

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : テトラヒドロチオフェン1,1-ジオキシド
 会社名 : 関東化学株式会社
 住 所 : 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-2-1
 担当部門 : 試薬事業本部 企画管理部 資料課
 電話番号 : 0120-260-489
 F A X 番号 : (03)3241-1047
 メールアドレス : BC32@gms.kanto.co.jp
 整理番号 : 40617

2. 危険有害性の要約

G H S 分類

物理化学的危険性

自然発火性固体 : 区分外
 水反応可燃性化学品 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性（経口） : 区分外
 急性毒性（経皮） : 区分外
 急性毒性（吸入：粉塵、ミスト） : 区分外

皮膚腐食性・刺激性 : 区分外

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分 2 B

皮膚感作性 : 区分外

生殖毒性 : 区分 2

環境に対する有害性

水生毒性（急性） : 区分外
 水生毒性（慢性） : 区分外

絵表示またはシンボル



注意喚起語 : 警告
 危険有害性情報 : 眼刺激
 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

注意書き

安全対策 : 取扱い注意事項をよく読み、理解してから取り扱う。
 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面、保護マスクなどを着用する。
 救急処置 : 眼に入った場合：流水で数分間洗い流す。医師の処置を受ける。
 取り扱った後、手を洗う。
 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の処置を受ける。

注意事項	: 密閉された装置、機械、または局所排気装置を使用する。取扱いは換気のよい場所で行なう。
安全取扱い注意事項	: 酸化剤と接触させない。
保管	
適切な保管条件	: 容器は密栓して冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料	: ガラス、ふっ素樹脂、ステンレス 塩化ビニル樹脂、ポリスチレンなどは使用しない。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	: 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。
管理濃度	: 設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会（2016年度版）	: 設定されていない
ACGIH（2015年度版）	: 設定されていない
保護具	
呼吸器用の保護具	: 必要に応じて防毒マスク（有機ガス用）を着用する
手の保護具	: 不浸透性保護手袋
眼の保護具	: ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 保護衣（長袖作業衣）、保護長靴、保護服等

9. 物理的及び化学的性質

形状	: 液体または固体
色	: 無色-淡黄色
臭い	: 特異臭
沸点	: 287.3℃
融点	: 28.45℃
引火点	: 166℃
発火点	: 528℃
爆発特性	
爆発限界	: 上限 : データなし 下限 : データなし
蒸気圧	: 19hPa (150℃)
蒸気密度	: 4.1
密度	: 1.261g/ml (30℃)
溶解性	
溶媒に対する溶解性	: 水 ; 自由に混合 有機溶剤 ; 多くの有機溶剤に可溶
その他のデータ	: 粘性率 : 10.286cP (30℃)

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常条件で安定である。
反応性	: 酸化剤と接触すると反応することがある。
避けるべき条件	: 日光、熱
混触危険物質	: 酸化剤

危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、硫黄酸化物

11. 有害性情報

急性毒性 : 経口 : 区分外
 経皮 : 区分外
 吸入 (蒸気) : データ不足のため分類できない
 吸入 (粉塵・ミスト) : 区分外
 ラット 経口 LD50=2489mg/kg
 ラット 吸入 LC50=12mg/L/4H
 ウサギ 経皮 LD50=12600mg/kg

皮膚腐食性・刺激性 : 区分外

ウサギとモルモットの試験において刺激性を示さないとあり、別のウサギの試験において軽度の刺激性とあるもののEC分類において刺激性なしとの記述より区分外とした。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

: 眼に対して刺激性がある (区分2B)
 ウサギの試験においてnot irritating (軽度の結膜炎は数時間で回復)、ウサギを用いたDraze Testでslightly irritating (角膜混濁、虹彩および結膜に刺激性を認めたが速やかに回復、適用7日後には全て正常)の結果が得られる。別のウサギによる試験では中程度の刺激とあるが、Draze Testでslightly irritatingの結果から区分2Bとした。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

: 呼吸器感作性 : データ不足のため分類できない
 皮膚感作性 : 区分外
 モルモットを用いたマキシマイゼーション試験において、皮膚感作性は認められなかった。

生殖細胞変異原性 : データ不足のため分類できない

発がん性 : データ不足のため分類できない

生殖毒性 : 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い (区分2)

ラットを用いた経口投与による簡易生殖毒性試験において親動物の体重低下、摂餌量の低下の見られる用量で、親動物における発情回数の低下がみられ、仔の産出率、出生率、新生仔の死亡など見られることから区分2とした。

特定標的臓器・全身毒性－単回暴露

: データ不足のため分類できない

特定標的臓器・全身毒性－反復暴露

: データ不足のため分類できない
 ラット、モルモット、イヌ、サルを用いた27日間吸入ばく露試験 (0.495mg/Lの1用量、8時間/日・5日/週) においてガイダンスの区分2を超える0.495mg/Lの用量でラットに肝臓および肺の炎症、モルモット、イヌ、サルに肺炎が認められるが区分外の用量である。サルを用いた85～110日間の吸入ばく露試験 (23時間/日) におけるNOAELは0.02mg/Lとされ0.2mg/Lで肺炎がみられる。いずれもLOAELはガイダンス値の区分2の用量を超えており、ガイダンスの範囲値において影響はみられないと考えられることから区分外 (吸入) に相当するが、他経路での影響が明確ではないことから分類できないとした。

吸引性呼吸器有害性 : データ不足のため分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性 : 水生毒性 (急性) : 区分外

水生毒性（慢性）：区分外

甲殻類（オオミジンコ） EC50=852mg/L/48H

残留性／分解性：データなし

生体蓄積性：データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：スクラバーを具備した焼却炉で焼却処理を行う。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

容器：空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制 適用法令なし

国連分類：分類基準に該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

：輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実に行う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法：非該当

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法：非該当

海洋汚染防止法：施行令別表第1有害液体物質（Y類）

16. その他の情報

引用文献 有機化合物辞典、有機合成化学協会編、講談社（1985）

Dangerous Properties of Industrial Materials, 6th ed. N. I. Sax他編
Van Nostrand Reinhold Company (1984)

16817の化学商品、化学工業日報社（2017）

*この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の実用を対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253に基づいて作成しており、JIS Z7250:2010に基づいて作成した製品安全データシート(MSDS)と記載事項は同一です。